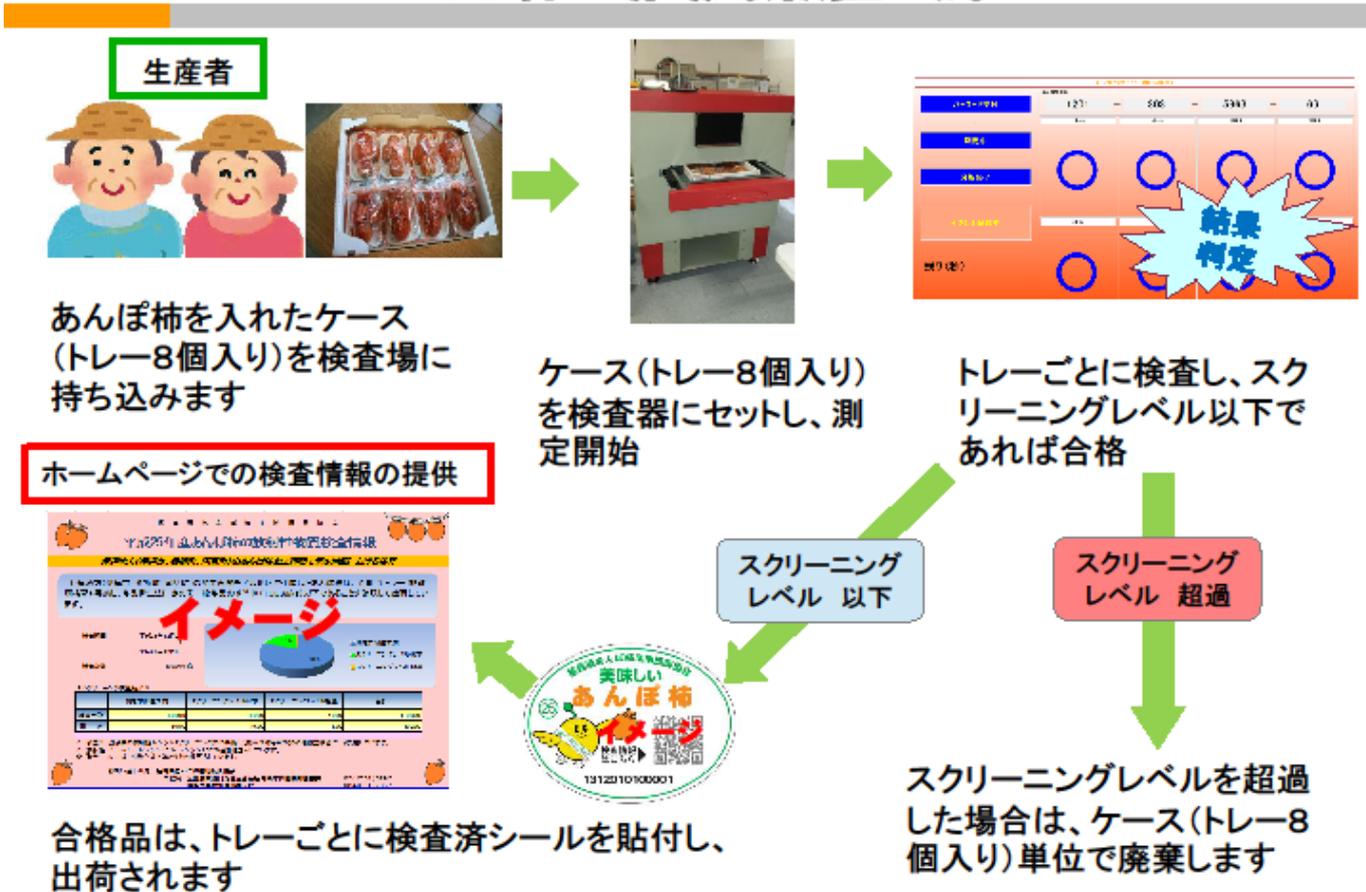


# あんぽ柿非破壊検査の流れ

## あんぽ柿の非破壊検査の流れ



# 平成25年産あんぽ柿の放射性物質検査情報(JA全農福島HP掲載)



福島県あんぽ柿産地振興協会



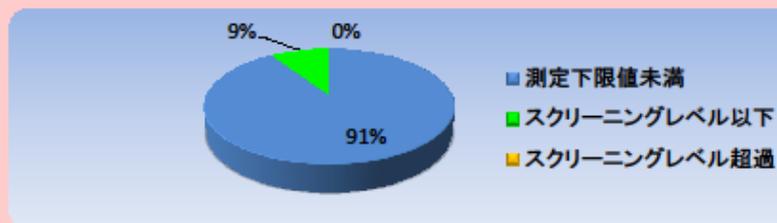
## 平成25年産あんぽ柿の放射性物質検査情報

――伊達地方(伊達市、桑折町、国見町)のあんぽ柿加工再開モデル地区における検査――

伊達地方(伊達市、桑折町、国見町)の加工再開モデル地区で生産したあんぽ柿は、全量(全トレー)非破壊検査を実施し、食品衛生法に定める一般食品の基準値(100Bq/kg)以下であることを確認して出荷しています。

検査期間 平成25年12月2日  
5  
平成26年2月13日

検査点数 793,296 点



### <スクリーニング検査結果>

	測定下限値未満 (25Bq/kg未満)	スクリーニングレベル以下 (25～50Bq/kg)	スクリーニングレベル超過 (50Bq/kg超過)	合計
検査点数	720,318	71,868	1,110	793,296
割合	90.8%	9.1%	0.1%	100.0%

☆ 検査は、食品中の放射性セシウムスクリーニング法に準拠したあんぽ柿専用の非破壊検査機器により実施しています。

☆ 放射性セシウムは、セシウム134とセシウム137の合計値を示しています。

☆ 割合については、小数点以下第1位を四捨五入しています。

☆ 測定下限値、スクリーニングレベルについては、「スクリーニング法とは」のページをご覧ください。

☆ スクリーニングレベルを超過したトレーは出荷箱単位で、廃棄部分となることから、出荷されていません。



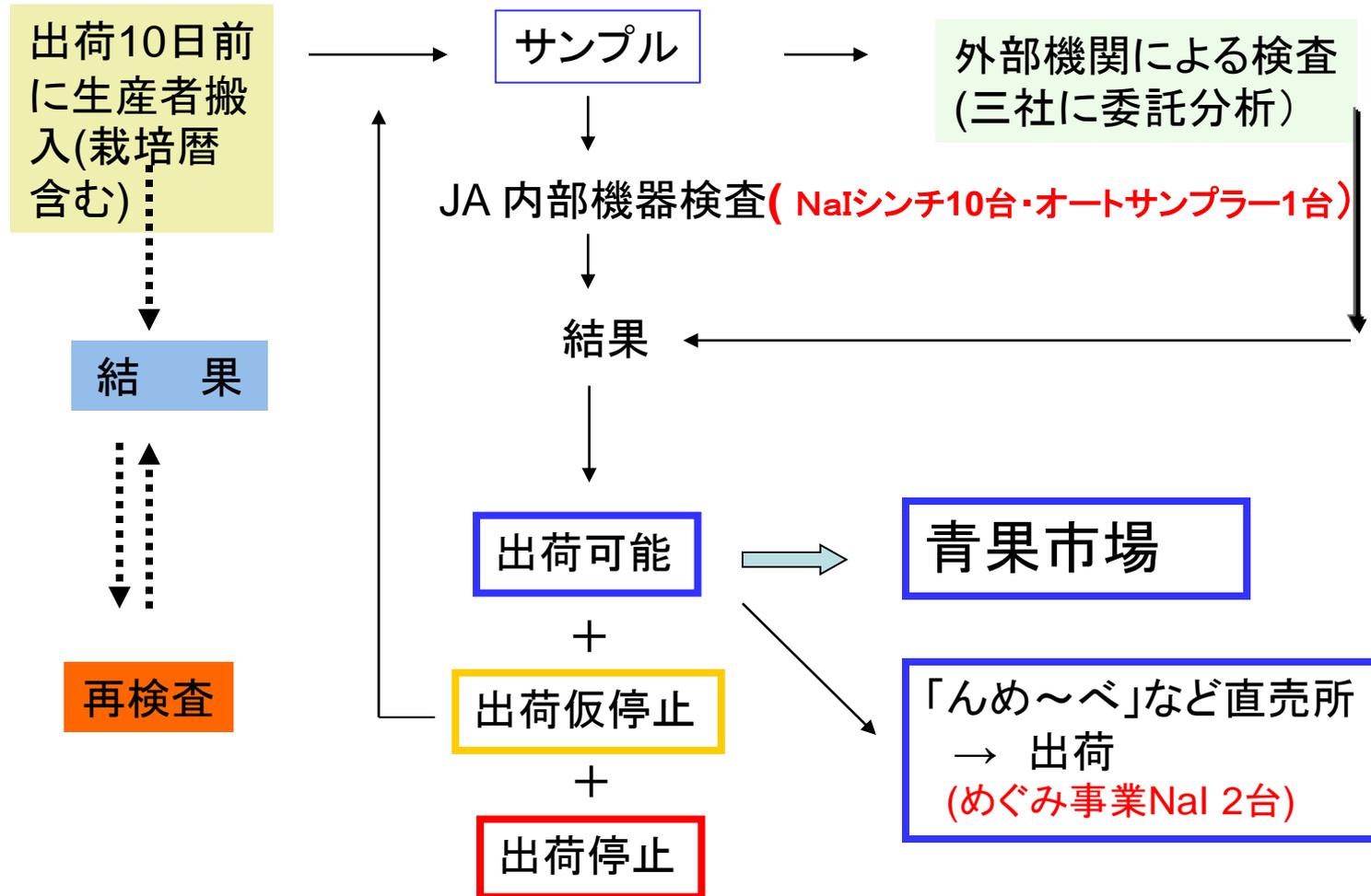
お問い合わせ先 福島県あんぽ柿産地振興協会

事務局: 全国農業協同組合連合会福島県本部園芸部園芸課  
福島県農林水産部園芸課

024(554)3292  
024(521)7357



# JA伊達みらいにおける全戸自主検査体系 「考え方の基本、ISO9001:2008の運用」

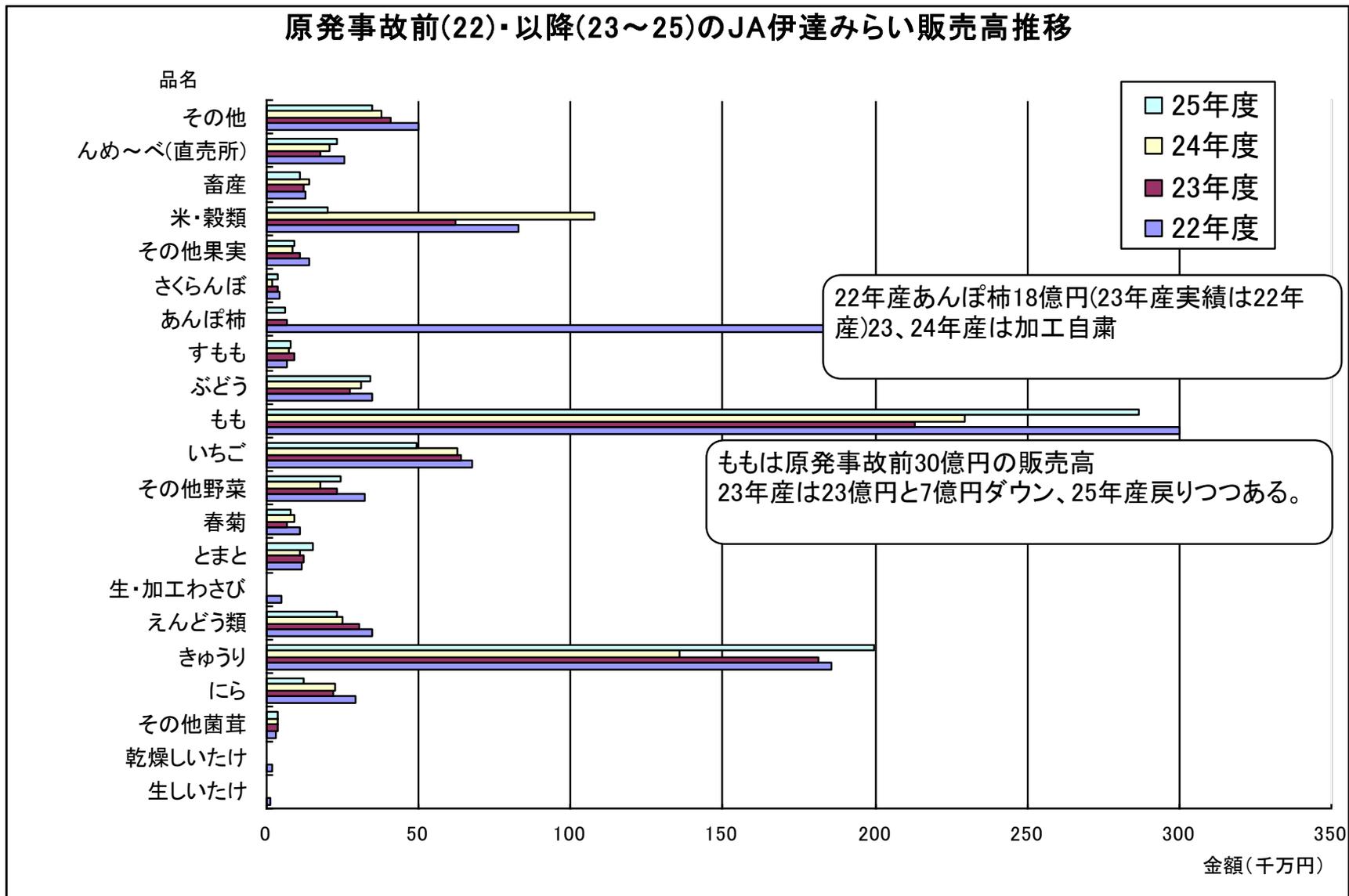


# JA伊達みらいにおける全戸全品目自主検査体制

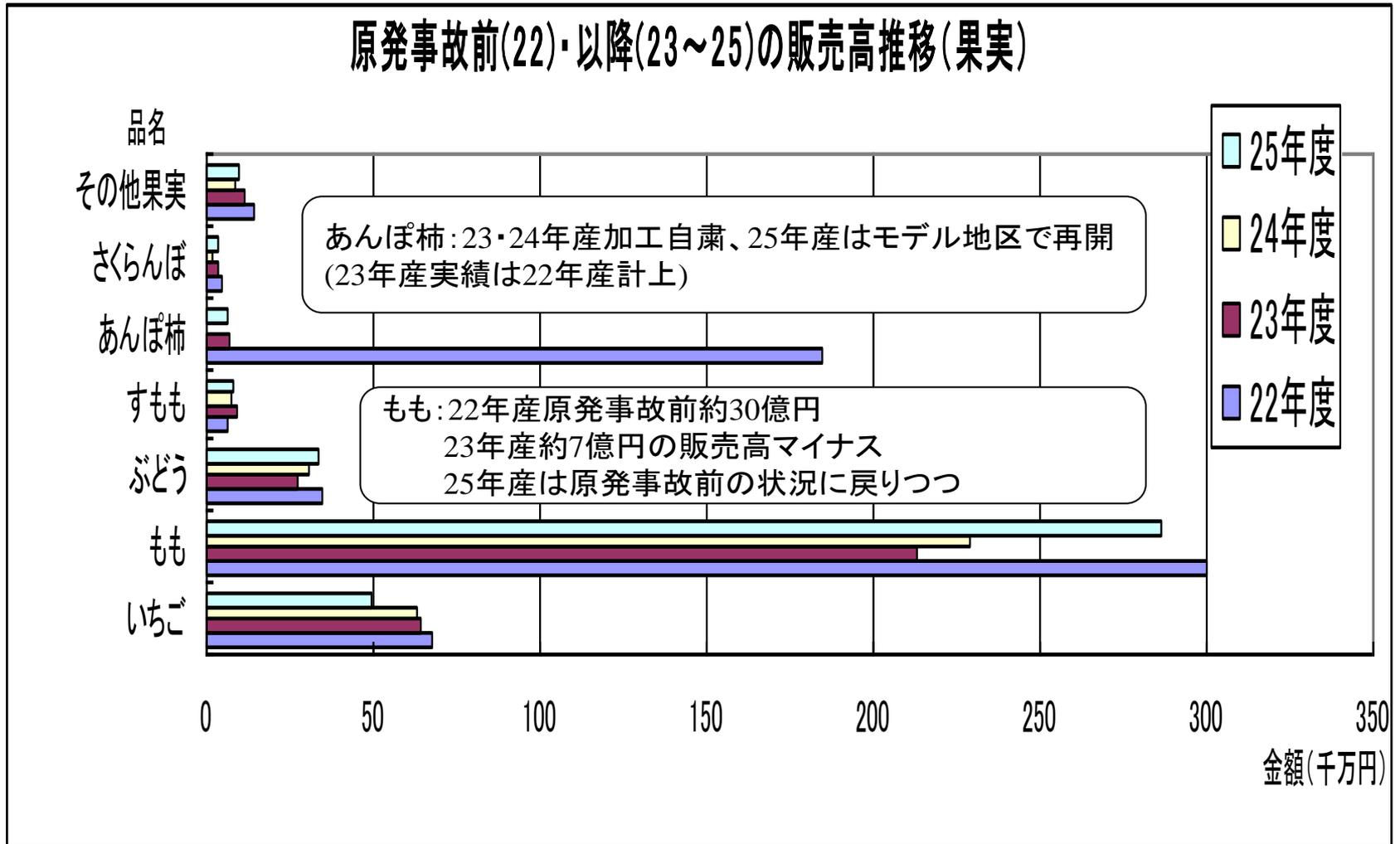
(平成25年3月1日～平成26年2月28日現在)分析数:検体数、穀類の玄米は別途全袋検査)

JA 内部での検査・( )内検査数は加工品		
品目	種類	分析数
野菜	141 (22)	8,246 (30)
果物	38 (8)	2,391 (10)
穀類	12	164
きのこ	11	62
山菜	13	234
計	215 (30)	11,097 (40)
外部委託検査		
品目	種類	分析数
野菜	0	0
果物	1	3,113
山菜	0	0
計	1	3,113
合計	216 (30)	14,210 (40)

# 「風評害の実態」 福島第一原発事故前後の青果物販売変遷



# 果実の販売高推移



# 野菜の販売高推移

